

福島県双葉郡教育復興ビジョン推進協議会

(福島県双葉郡:大熊町、葛尾村、楡葉町、浪江町、富岡町、広野町、川内村、双葉町)～国立大学法人福島大学～

取組全体の目的・概要:

福島第一原発事故による厳しい状況に直面している福島県双葉郡において「福島県双葉郡教育復興ビジョン」を踏まえ、全国モデルともなる人材育成と新たな産業の創造やコミュニティの活性化等の相乗効果を生む復興を推し進める

取組の先導性: 人口減少や高齢化の急速な進行、地域コミュニティの維持、新たな産業の創造等の課題は、全国の多くの地域が直面する課題とも重なる。人材育成と地域活性化がかみ合い相乗効果を創出するモデルは今後全国で求められる

主な実施取組の内容

取組① 福島県双葉郡教育復興ビジョンを踏まえた、 人材育成と地域活性化のモデルの形成事業

A.「ふるさと創造学」の推進

- 郡内小・中・高校に外部講師を招いた授業実施(27回)
- カリキュラム指針の策定、指導用映像資料の作成・配布
- 先進地域事例研究を含む郡内の教職員研修の実施(6回)



B.体制整備と合議体の開催(22回)

- 町村・県・国の教育関係者や地元企業、外部有識者らを委員とする「福島県双葉郡教育復興ビジョン推進協議会」の開催
- テーマごと協議会のもとに設置されたワーキンググループで、ビジョンの具体化を協議・推進
 - ・WG1:各町村立幼少中学校間の連携
 - ・WG2:多様な主体の連携
 - ・WG3:避難している子供たちや住民との絆づくり
- 各取組推進や各種連携団体とのコーディネートを行う事務局体制を整備



取組② 双葉郡教育復興ビジョンを踏まえた、 理解促進とコミュニティ連携事業

A.「ふるさと創造学発表会」の開催(3回)

- 「ふたばワールド2014inかわうち」にて、地域への取組発信と交流を目的に「ふるさと創造学」中間発表会、伝統芸能発表会を実施
- 8町村合同学習発表会「第1回ふるさと創造学サミット」開催

B.子供未来会議を中心とした地域コミュニティとの連動(6回)

- 子供未来会議の実施
- 「ふたばワールド2014inかわうち」にて、憩いの場「ふたばのカフェ」を開催

C.情報共有と発信

- ウェブサイトを開設して情報を発信



得られた成果

概ね予定通りに会議が進捗し、協議から生まれた各取組の実施段階へと移行。カリキュラム指針作成や教員研修を重ね、郡内全町村の小・中学校で「ふるさと創造学」の取組がスタートし確実に広がりを見せ始めている。郡全体での学習発表会など、地域へ向けた発信まで行った。

今後に向けた課題・活動の見通し

町村立小中学校を中心に今年度進めてきた取組を、平成27年4月開校の県立ふたば未来学園高校に発展させていく予定であり、各町村間の連携や、郡全体としての取組推進、多様な主体との円滑な連携等のため、あるべき体制やしくみを整備していく必要がある。